

惠泉女学園大学大学院

2023 年度入試
学生募集要項
〔2023 年 4 月入学〕

人文学研究科（文化共生専攻）

平和学研究科（平和学専攻）



目 次

3つのポリシー	1~3
募集人員／出願資格	4
出願方法及び出願場所／入学者選抜方法	5
出願期間・試験日／注意事項	6
出願書類／入学検定料	7
学力検査・面接／合格発表／入学手続	8
長期履修制度	9
学費等納入金	10
奨学金	11
入学試験場案内	巻末

人文学研究科（文化共生専攻）3つのポリシー

1.ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

本研究科に所定の期間在籍し、本研究科の教育方針に基づくカリキュラムにしたがって、所定の単位を修得し、かつ本研究科が実施する修士論文の審査に合格した者に、修士の学位を与える。学位授与にあたっては、以下の能力と資質を有していることを基準とする。

本研究科の修了生は、既成の学問の枠組みにとらわれず、多様化する現代世界に対応する資質を備え、広い視野に立って文化現象を現実にも即して理解することができる。

- (a)「日本語教育」コースで学ぶ者については、日本語教育、日本語、日本文学に関する専門的知識はもちろんのこと、文化交流論関連科目等のさまざまな文化についての幅広い見識を身につけ、日本語教員として、または日本語教員養成者として活躍できる。
- (b)「文化交流論」コースで学ぶ者については、文化交流によって生ずる相互理解や摩擦に関する専門的な知識を用いて、国内外の各種教育機関、文化交流事業、行政機関等で活躍できる。

《修士論文審査基準》

修士論文の審査においては、以下の項目に基づいて、主査及び副査2名以上の教員が評価を行うものとする。

- *論文題目・研究課題の明確さ
- *主題についての学術上の創意工夫
- *資料の取り扱いの適切さ
- *先行研究の十分な検討、批判的視点
- *研究方法及び論旨の一貫性
- *考察・分析の妥当性
- *表現・表記法の適切さ
- *構成の体系性
- *学術上及び社会的意義

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

各コースの専門的な知識と技能の修得が可能となるよう、本研究科は「基礎研究領域」ならびに「専門科目領域」を設けるとともに、より広い視野から言語と文化に関する知識と技能を修得するために「関連研究領域」を設ける。さらに、研究方法と研究技法を修得し、修士論文を完成させるために「研究演習領域」を設けている。

- (a)「日本語教育」コースで学ぶ者に対して、日本語教員としての能力を向上させ、言語としての日本語と日本語教育に関する知識を修得するために、「日本語教育」関連科目群を設ける。また、日本語教育において必要不可欠な日本の文学や文化に関する知識を習得できるように「文化交流論」関連科目群をおく。さらに、レベルの高い学習者のニーズにも対応できる能力を養うことを目的として、本学の留学生を対象とした実習等による実践的な教育を行う。

- (b)「文化交流論」コースで学ぶ者に対して、宗教文化、ジェンダー、マイノリティー等の視点から、異文化の交流と衝突の事例の研究を通じて多様化する現代世界を理解するための「文化交流論」関連科目群を設ける。

3.アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- (a)「日本語教育」コースの専門的な研究を目指す者については、日本語教員養成課程の修了者、またはそれに準ずる能力を有する者。複雑化する多文化社会で、より高度な知識を持った日本語教員、または日本語教員養成者として活躍する意欲のある者。
- (b)「文化交流論」コースの専門的な研究を目指す者については、多文化社会における文化の諸相に学問的に関心を持ち、学部においてそれらに関する基礎知識を習得してきた者。文化交流に関する専門知識と幅広い視野を活かし、国内外の各種教育機関、文化交流事業、行政機関等で活躍する意欲のある者。

平和学研究科（平和学専攻）3つのポリシー

1.ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

本研究科に所定の期間在籍し、本研究科の教育方針に基づくカリキュラムにしたがって、所定の単位を修得し、かつ本研究科が実施する修士論文の審査に合格した者に、修士の学位を与える。学位授与にあたっては、以下の能力と資質を有していることを基準とする。

本研究科の学生は、直接的暴力、構造的暴力、そして文化的暴力に関する学際的な平和学の研究の立場から、新たな学問的可能性を切り開く能力とともに、平和学の学問的知識に裏打ちされた実践的能力をもって、平和を作るリーダーシップを発揮して、広く社会的要請に応えることができる。

- (a)「国際協力」コースで学ぶ者については、学際的な平和学の理論的・実証的研究を基礎に、抽象的、固定的ではない、広く多様な視野、柔軟な思考で平和を理解し、確固たる信念の下で、実践的な手段を駆使して、その実現に積極的に取り組むことができる。
- (b)「公共／社会政策」コースで学ぶ者については、公共政策について現場や具体的事例から広く多様な視野、柔軟な思考で理解し、持続可能な社会の人間関係と公共性の創生に積極的に取り組むことができる。

《修士論文審査基準》

修士論文の審査においては、以下の項目に基づいて、主査及び副査2名以上の教員が評価を行うものとする。

- *論文題目・研究課題の明確さ
- *主題についての学術上の創意工夫
- *資料の取り扱いの適切さ
- *先行研究の十分な検討、批判的視点
- *研究方法及び論旨の一貫性
- *考察・分析の妥当性

- *表現・表記法の適切さ
- *構成の体系性
- *学術上及び社会的意義

2.カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

各コースの専門的な知識と技能の修得が可能となるよう、本研究科は「基礎研究領域」ならびに「専門科目領域」を設けるとともに、アジア諸地域の現状に関する知識を修得するために「地域研究領域」を、平和学に関する実践的な知識と技能を養成するために「関連研究領域」を設ける。さらに、研究方法と研究技法を修得し、修士論文を完成させるために「研究演習領域」を設けている。

- (a) 「国際協力」コースで学ぶ者に対して、「平和構築論」「グローバルガバナンス論」「多民族共生論」「国際社会論」「公的援助論」で実践的な平和構築に関する知識を修得させ、「地域研究領域」で地域的な多様性に関する知識を習得する。国際協力の実践的スキルと知識の修得のために「市民社会活動（NGO）論」で理論と技法を、現場で活躍するうえで必要不可欠な高度な実践的技法を身につけるために「関連研究領域」の「平和実践研究Ⅰ」「フィールド調査法Ⅰ」「実践英語研究」の科目を置く。
- (b) 「公共／社会政策」コースで学ぶ者に対して、「ジェンダー論」「国際社会論」「環境と社会」「国際農業論」「公的援助論」でジェンダー、環境、社会政策に関する知識を習得させる。構造的暴力や文化的暴力をなくすために、公助・共助の場での実践的スキルと知識の習得のために「市民社会活動（NGO）論」で理論と技法を、現場で活躍するうえで必要不可欠な高度な実践的技法を身につけるために「関連研究領域」の「平和実践研究Ⅱ」「フィールド調査法Ⅱ」「実践英語研究」の科目を置く。

3.アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- (a) 「国際協力」コースの専門的な研究を目指す者については、今日の国際的な事象およびアジアの歴史的な国際関係に学問的興味を持ち、学部において、社会において、それらに関する基礎知識を習得してきた者。国際協力に関する専門知識と実践的スキルを活かし、国内外の平和の実現に積極的に取り組む意欲のある者。
- (b) 「公共／社会政策」コースの専門的な研究を目指す者については、ジェンダー、環境、社会政策の諸相に学問的関心を持ち、学部において、社会において、それらに関する基礎知識を習得してきた者。公共／社会政策に関する専門知識と実践的スキルを活かし、国内外の公助・共助の社会的制度や仕組みの実現に積極的に取り組む意欲のある者。

募集人員

(2023年4月入学)

人文学研究科 文化共生専攻(修士課程) 5名
平和学研究科 平和学専攻(修士課程) 7名

出願資格

下記のいずれかに該当する女性。

1. 大学を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了及び学士の学位の取得が見込まれる者)
3. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上あること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)を修了した者
4. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 入学時まで、大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者
※6.の出願資格で受験しようとする者は、下記の期日までに教務課の大学院担当者へ連絡してください。(9月入試の受験はできません)

2月入試 2023年1月27日(金)

7. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達する者
※7.の出願資格で受験しようとする者は、下記の期日までに入試広報室の担当者へ連絡してください。

9月入試 2022年8月19日(金) / 2月入試 2023年1月27日(金)

(注1) 外国人留学生の場合、日本留学試験300点以上または日本語能力試験N1合格者である者

人文学研究科において、日本語教育を希望する場合

人文学研究科において日本語教育を専攻し、修了後に日本語教員を希望する方は以下のいずれかの条件を満たしていなければなりません。

1. 大学において日本語教員養成課程(主専攻・副専攻)を修了している者
※修了証明書(コピー)を提出のこと。
2. 420時間以上の日本語教員養成講座を修了している者
3. 日本語教育能力検定試験に合格している者
4. 日本語教員としての経歴を有する者

また学力検査では以下のように受験してください。

「b方式:小論文」または「c方式:英語および小論文」のいずれかを選択すること。

なお、小論文については、選択問題の中から日本語関係の小論文を選択すること。

出願方法及び出願場所

出願書類を整え、出願期間中に郵送または持参してください。

〒206-8586 東京都多摩市南野 2 丁目 10 番 1 号

恵泉女学園大学 入試広報室

電話 042-376-8217 (直通)

郵送の場合は簡易書留・速達郵便とし、出願期間内に入試広報室必着のこと。

(封筒に「大学院入学出願書類在中」と朱書すること)

入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書等の書類審査、学力検査および面接による総合評価で判定します。

学力検査は、以下の 3 方式より出願時に 1 方式を選択します。

a 方式：英語（70 分）

b 方式：小論文（70 分）

c 方式：英語および小論文（70 分）

【学力検査（英語）免除規定について】

下記の基準を超える者については学力検査（a 方式：英語）の受験を免除します。免除基準を満たすことを証明する書類（スコアレポートの写し等）を出願書類に添えて提出してください。

ただし、有効期間は出願締切日よりさかのぼって 2 年とします。

TOEFL (PBT)	520 点以上
TOEFL (iBT)	68 点以上
TOEIC	700 点以上
実用英語技能検定試験	準 1 級以上

出願期間・試験日

入試	出願期間	受付時間	試験日
9月入試	2022年 8月19日(金) ～9月7日(水) 必着	平日(月～金) 午前10時～午後3時	9月10日(土)
2月入試	2023年 1月27日(金) ～2月15日(水) 必着	平日(月～金) 午前10時～午後3時	2月20日(月)

注意事項

- (1) 受験あるいは学生生活に関して何らかの配慮を必要とする方は、出願開始の2週間前までに入試広報室へお申し出ください。
- (2) 出願書類及び納入された検定料は、いかなる場合でも返還しません。
- (3) 試験場……………恵泉女学園大学大学院（大学への最寄り駅及び交通等、詳細は巻末の「入学試験場案内」をご覧ください）
- (4) 試験室……………試験当日、受付でご案内します。
- (5) 当日の携帯品……………受験票、筆記用具、昼食、英語の辞書（英語受験者）
- (6) 出願書類に虚偽の記載がある場合、もしくは試験中不正を行った場合は入学資格を取り消します。
- (7) 出願前に、必ず本大学院本研究科において指導教員としての受け入れを希望する教員の了承を得てください。

出願書類

- (1) 入学志願票、写真票・受験票、研究計画等
(本要項に同封の本学所定用紙を使用。入学志願票、写真票・受験票は写真貼付すること)
- (2) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
(出願資格6または7に該当する者は、在学証明書または在籍期間証明書)
- (3) 成績証明書
(出願資格7に該当する者は、大学を卒業した者と同等以上の学力を持つことを説明する資料－職務や経歴、業績等についての詳しい説明資料－を提出のこと)
- (4) 卒業論文またはそれに代わるものとしての論文等の要旨または梗概。
(出身大学名、氏名を明記すること)
- (5) 日本語が母語あるいはそれに準ずるものでない、主に外国人受験者においては、
 - (a) 日本留学試験（日本語）または日本語能力試験（N1）の成績通知書の写し
 - (b) 経済基盤調査書（本要項に同封の本学所定用紙を使用）
 - (c) 在留カードのコピー（本人及び在留資格が確認できる部分）
 - (d) パスポートのコピー（本人及び在留資格が確認できる部分）
- (6) 検定料の領収書（銀行振込みの場合のみ。詳細は下記の『入学検定料』参照）

これらの書類の提出が困難な場合は、入試広報室にご相談ください。

入学検定料

入学検定料 ¥35,000

[窓口で納入する場合] 出願期間中に、本学窓口で納入してください。

[銀行で振込する場合] 出願期間中に、下記の銀行口座に振り込んでください。

三菱UFJ銀行 世田谷支店 普通預金 0362728 恵泉女学園大学

※ ATM、ネットバンキングで振込む場合は、必ず名前の前に、入試区分コードを入力してください。(9月入試・・・91、2月入試・・・92)

例) 91 ケイセンハナコ

<注意>

[ネットバンキングを利用する場合]

振込操作が正常に完了すると確認画面が表示されるので、必ずプリンターで出力し、他の必要書類と一緒に同封し送付すること。

[ATMで振込む場合]

利用明細（※コピー可）を他の必要書類と一緒に同封し送付すること。

学力検査・面接

入 試	時 間	a 方式	b 方式	c 方式
9 月入試 2 月入試	8 : 30～9 : 00		受付	受付
	9 : 00～9 : 10		集合・受験上の注意	集合・受験上の注意
	9 : 10～10 : 20	a 方式の受付は、 10 : 10～10 : 30 です。 (a 方式で英語を免除の方は、12 : 20 に 受付を行います。)	小論文	小論文
	10 : 40～11 : 50	英語 英語の辞書 1 冊の使用を認める。 ただし電子辞書の持ち込みは認めません。		英語 英語の辞書 1 冊の使用を認める。 ただし電子辞書の持ち込みは認めません。
	13 : 00～ (注 1)	面接		

(注 1) 面接の時間は、志願者の状況によって変更する場合があります。

合格発表

9 月入試 2022 年 9 月 11 日 (日)

2 月入試 2023 年 2 月 21 日 (火)

※本学ウェブサイトによる発表 <https://www.keisen.ac.jp> (合格発表日の 10:00～17:00)

受験生には選考結果通知書を速達にて発送し、合格者には「入学手続の手引」を同封します。
本学ウェブサイトによる発表も行いますが、受験生に送付される選考結果通知書をもって正式な通知とします。

【注意】電話による可否のお問い合わせには応じられません。

入学手続

(1) 入学手続期間

9 月入試 入学手続 2022 年 9 月 11 日 (日) ～ 9 月 30 日 (金)

2 月入試 入学手続 2023 年 2 月 21 日 (火) ～ 3 月 3 日 (金)

(2) 入学手続方法

- ① 入学時納入金(恵泉女学園の学校を卒業した方 455,000 円、外部大学卒業生 680,000 円)を銀行振込にて一括納入してください。
- ② 合格者に送付される「入学手続の手引」に定められた手続書類を、手続期間内に本学宛に郵送してください。

【注意】

- ① 手続期間内に手続を行わない場合は、入学の権利を失うことになります。
- ② 納入金および提出書類は返還しません。ただし、入学手続完了者で2023年3月31日（金）15：00までに入学辞退の申し出を確認できた場合には、春学期授業料・施設設備費・教育充実費・施設維持費を返還します（入学金は返還しません）。

長期履修制度

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、本来の標準修業年限内（2年）での履修が困難な学生に対し、3年間又は4年間履修できる制度です。ただし、休学期間を含みません。授業料は2年間分の総額を3年間又は4年間で納入することとします。

1. 対象者

長期履修を願い出ることができる者は、標準修業年限内での履修が困難な次の各号のいずれかに該当する者。ただし、留学生は申請することができない。

- ① 入学時において職業等を有している者
- ② 介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③ その他当該研究科が相当な事情があると認めた者

2. 履修期間

長期履修期間は入学時から3年あるいは4年とする。ただし、休学期間はこれに算入しない。

3. 在学年限

長期履修制度での入学者は下記の在学年数を超えて在籍することはできない（在学年数の制限）。

- ① 3年間での履修入学者の場合は、5年間
- ② 4年間での履修入学者の場合は、6年間

4. 提出書類

長期履修を希望する者は、次に掲げる書類を出願書類と共に願書受付期間内に、入試広報室に提出すること。

- ① 長期履修学生願書
- ② 長期履修計画書（指導教員と相談の上、提出すること）
- ③ 在職証明書又は在職が確認できる書類（入学時において職業等を有している者）
- ④ その他当該研究科が必要と認める書類

5. 授業料等納入金

10ページ学費等納入金（長期履修生制度）を参照。

6. 審査結果通知

審査結果については、大学院合格発表時に合格通知と共に発送する。

2023年度学費等納入金

種別	区分		1年次		2年次	備考
	入学時納入金		春学期	秋学期	年間学費	
	外部生※①	内部生※②	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	
入学金	175,000	無料	-	-	-	入学時のみ
授業料	345,000	345,000	-	345,000※③	690,000	毎年度・2年次以降は春と秋に分給
施設設備費	100,000	50,000	-	-	50,000	毎年度・2年次以降は春と秋に分給※④
教育充実費	30,000	30,000	-	-	30,000	毎年度・2年次以降は春と秋に分給※④
施設維持費	30,000	30,000	-	-	30,000	毎年度・2年次以降は春と秋に分給※④
学会費	-	-	-	1,000	1,000	毎年度・2年次以降は春に精付
スクールバス維持費	-	-	-	20,000	20,000	毎年度・2年次以降は秋に精付
合計	680,000	455,000	-	366,000	821,000	

※① 外部生は卒業年次の春学期に上記学費と別途、同窓会費30,000円を頂きます。

※② 内部生とは(中学、高校、短大、大学のいずれか)を卒業して10年以内の者を指します。

※③ 秋学期授業料(345,000円)は、春学期授業終了後に徴収します。(銀行振込)
私費外国人留学生には授業料減免制度があり、所定の期間内に申請手続きを行い更にその他の受給条件を満たした者に対して、年間授業料の2分の1相当額(345,000円)を減免します。

※④ 長期履修生のみ施設設備費、教育充実費、施設維持費は3年次以降、不要です。

※ 金額は改定される場合があります。

2023年度学費等納入金(長期履修制度3年対象者)

種別	区分		1年次		2年次	3年次
	入学時納入金		春学期	秋学期	年間学費	年間学費
	外部生※①	内部生※②	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通
入学金	175,000	無料	-	-	-	-
授業料	345,000	345,000	-	345,000	345,000	345,000
施設設備費	100,000	50,000	-	-	50,000	-
教育充実費	30,000	30,000	-	-	30,000	-
施設維持費	30,000	30,000	-	-	30,000	-
学会費	-	-	-	1,000	1,000	1,000
スクールバス維持費	-	-	-	20,000	20,000	20,000
合計	680,000	455,000	-	366,000	476,000	366,000

2023年度学費等納入金(長期履修制度4年対象者)

種別	区分		1年次		2年次	3年次・4年次
	入学時納入金		春学期	秋学期	年間学費	年間学費
	外部生※①	内部生※②	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通	外部生・内部生共通
入学金	175,000	無料	-	-	-	-
授業料	345,000	345,000	-	345,000	230,000	230,000
施設設備費	100,000	50,000	-	-	50,000	-
教育充実費	30,000	30,000	-	-	30,000	-
施設維持費	30,000	30,000	-	-	30,000	-
学会費	-	-	-	1,000	1,000	1,000
スクールバス維持費	-	-	-	20,000	20,000	20,000
合計	680,000	455,000	-	366,000	361,000	251,000

奨学金

○日本学生支援機構奨学金（貸与奨学金）

人物・学業ともに優れ、経済的理由により就学が困難な学生を対象としたもので、希望者のなかから学内審査を経て推薦者を決定します。

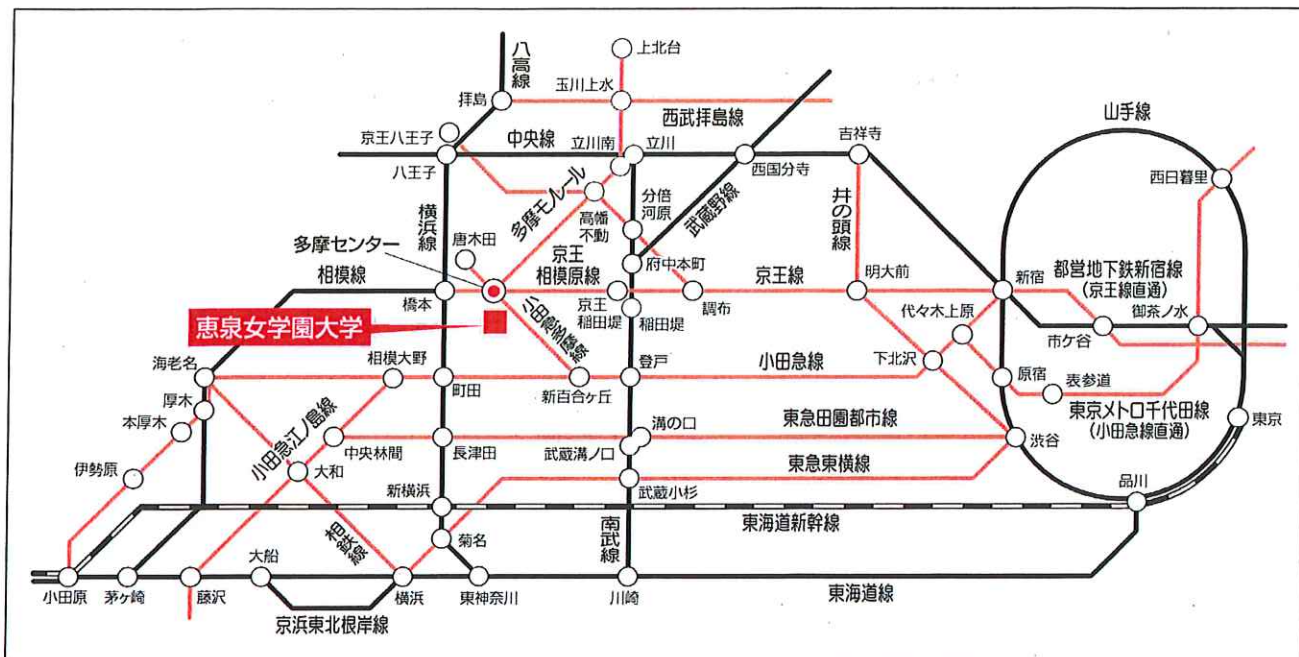
- ・ 第一種（無利子） ……貸与月額 50,000 円、88,000 円から選択
- ・ 第二種（有利子） ……貸与月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択

○私費外国人留学生（在留資格「留学」の者に限る）のための奨学金

成績優秀者には授業料減免の他に本学独自の奨学金（年間授業料の 4 分の 1 相当額＝172,500 円）を給付します。

※奨学金について詳しくは本学学生課(042-376-8213)へお問い合わせください。

入学試験場案内



●交通 鉄道

京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車。
無料スクールバス約12分

◎京王多摩センター駅までの乗車時間

新宿駅から28分(調布まで特急または準特急を利用した場合)
市ヶ谷駅から46分(都営新宿線直通の急行を利用した場合)
橋本駅から約10分

◎小田急多摩センター駅までの乗車時間

新百合ヶ丘駅から約10分
新宿駅から約40分

◎多摩モノレール多摩センター駅までの乗車時間

立川南駅から約22分
玉川上水駅から約34分

※各駅からの最短の乗車時間を表し、乗り換え等にかかる所要時間は含みません。

●スクールバスの利用

スクールバス(無料)は、多摩センター駅(京王プラザホテル多摩前の歩道橋階段下)から10~15分間隔で運行。キャンパスまで約12分です。バスダイヤはホームページから確認してください。



学校見学をご希望の方は入試広報室にご連絡のうえ、お気軽にお越しください。お待ちしております。

【多摩センター駅スクールバスのりば】



【恵泉女学園大学周辺の案内図】



スクールバス運休時は、多摩センター駅路線バス8番のりばから、「恵泉女学園大学入口」下車徒歩6分です。

個人情報取り扱いについて

本学では、入学試験出願に伴い収集した個人情報を、入学試験の実施および付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適正な管理を行います。



生涯就業力を磨く

恵泉女学園大学

この冊子は、入学手続きが完了するまで保管してください。

恵泉女学園大学

〒206-8586 東京都多摩市南野 2-10-1 TEL.042-376-8217 (入試広報室) FAX.042-376-8604 E-mail nyushi@keisen.ac.jp
パソコン/スマートフォンから <https://www.keisen.ac.jp>
